

【2027年国際園芸博覧会】
住友林業館「ひゃくの森」アテンダントを5月11日(月)より募集開始
～森を見つめる100の視点の案内人を募集～

住友林業株式会社(社長:光吉敏郎、本社:東京都千代田区)は2027年3月19日から横浜市で開催される「2027年国際園芸博覧会(以下、GREEN×EXPO 2027)」のCraft Villageに住友林業館「ひゃくの森」を出展します。この度、国内外から住友林業館「ひゃくの森」を訪れる方々の案内・誘導、展示説明、各種接客サービス対応を担うアテンダントスタッフの募集を、2026年5月11日(月)より開始いたします。国内外の方々が木の香りや手触りを五感で感じながら、多様な視点を通じて、自分自身の森を探すお手伝いをしてみませんか。多くの方々のご応募をお待ちしております。



住友林業館「ひゃくの森」外観イメージパース(左)、2階デッキイメージパース(右)

■住友林業館「ひゃくの森」アテンダント募集概要

- ・募集期間:2026年5月11日(月)～ ※集まり次第終了、詳細は採用ページをご確認ください
- ・募集職種:住友林業館「ひゃくの森」アテンダント
- ・業務内容:施設案内・誘導業務、展示説明、各種接客サービス対応業務 等
- ・募集人数:34名程度
- ・勤務期間:2027年2月中旬～2027年9月末(予定)
- ・採用ページ(詳細)URL:<https://www.sapient-inc.co.jp/sumirin-saiyo/>

【住友林業館「ひゃくの森」アテンダント募集に関するお問合せ】

住友林業館「ひゃくの森」アテンダント応募事務局(株式会社サピエント)

メールアドレス: sumirin-saiyo@sapient-inc.co.jp

■住友林業館「ひやくの森」概要

住友林業館「ひやくの森」は「100EYES, 100FORESTS. (ハンドレッドアイズ、ハンドレッドフォレストス)」をコンセプトに、木と森を多角的な視点から見つめる体験を提供します。森が育む「命」と「知」に触れ、人と木が共に築いてきた現在の森、そしてこれから創り出す未来の森について考えるきっかけを得ることができます。

住友林業グループは森林経営から木材建材の製造・流通、戸建住宅・中大規模木造建築の請負や不動産開発、木質バイオマス発電まで、「木」を軸にした事業をグローバルに展開しています。このバリューチェーン「ウッドサイクル」を回すことで脱炭素社会の実現を目指してきた住友林業が考える、森を見つめる多様な視点とそれらを通じて、自分にとっての新しい「森」を見つける旅をお楽しみください。

■住友林業館「ひやくの森」コンセプト



森の姿は、見る人によって変わっていく。

ここであなたを待っているのは、森を見つめる100の視点。

子どもの目。科学の目。文化、経済、都市の目。

ひとつひとつのまなざしが、森に隠された命と知を映しだし

そこにある新しい可能性を照らしています。

奥へと進むほどに広がっていく、森との物語。

そして、ここを訪れたあなた自身もまた、100の視点のひとつなのです。

さあ、どんな目で森を見よう？

知らなかった森の可能性を巡る旅がはじまります。

■住友林業館「ひやくの森」特設サイト

<https://sfc.jp/expo2027>

特設サイトでは、住友林業館「ひやくの森」のイメージパース・ロゴや最新トピックスがご覧いただけます。なお、随時関連情報の更新を予定しています。

■2027年国際園芸博覧会とは

正式名称:2027年国際園芸博覧会(International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)

テーマ:「幸せを創る明日の風景(Scenery of the Future for Happiness)」

開催期間:2027年3月19日(金)~9月26日(日) 192日間

開催場所:神奈川県横浜市・旧上瀬谷通信施設地区

※AIPH(国際園芸家協会)承認・BIE(博覧会国際事務局)認定の国際博覧会で、世界各国・地域が参加し、花や緑、農、食、環境技術を通じて未来社会を提示する博覧会。

会場は、約100ヘクタール(東京ドーム約21個分)の広大な会場空間を舞台に、各国 Village や企業出展、最先端のガーデン展示が展開。計1,500万人の参加が見込まれています。



GREEN×EXPO 2027
公式マスコットキャラクター
トウクトウク

《リリースに関するお問い合わせ》

住友林業株式会社

GREEN×EXPO 2027 プロジェクト委員会 広報グループ 河村・新野

TEL:03-3214-2270